

地学オリンピック支援委員会

第18 回議事録

2023 年4 月1 日

委員長 田中 義洋

期 日：2023 年4 月1 日（土）15:00 – 16:30

形 態：オンライン

出席者：浅野、川勝、川村、小泉、芝川、田中、富永、久田、渡来（出席者 9 名で委員会は成立）

議 題

1. 令和4年度の活動および第15回日本地学オリンピックや関連イベントの報告
2. 第15回日本地学オリンピック予選問題の評価
3. 所属の確認と次回日程などの確認

詳 細

1. 令和3年度の活動報告

(1) 委員会を1度開催（第17回：2022年3月26日）

(2) 第14回日本地学オリンピック予選の問題検討

第17回委員会およびその後のメーリングリストでの検討を経て、5月に地学オリンピック日本委員会に「第13回日本地学オリンピック予選 試験問題に関する講評」を提出した。

(3) 第15回日本地学オリンピック本選および地学オリンピック関連イベントなどの報告

第15回は1434名が受験し、12月の一次予選はオンライン、1月の二次予選から会場を設けての実施を経て、3月12～14日に茨城県つくば市で本選および日本代表選抜が行われ、国際大会代表者4名が決まった。国際大会は8月20～26日にオンラインで開催予定。なお、国際地学教育機構（IGEO）のほうでは、国際大会で研究発表のような探究的な活動に力を入れていきたいという意向も出ているようである。

この他、久田委員から、オンラインでの国際大会の開催が続いていることから、日本の高校生に国際交流の場を提供するため、8月31日～9月3日に福岡県宗像市で日本・韓国・台湾の生徒が集う Earth Science Festival in East Asia High School Students 日本大会が開催されることが報告された。各チーム10名以内の高校生が参加予定で、日本チームは、本選で金賞を受賞した上位10名が対象となるとのこと。また、川村委員から、地学オリンピックに関するミニシンポジウム開催のお知らせがあり、中学校・高校教員を中心とした科学オリンピック推進に関する内容につき、地学オリンピック支援委員会の学校教員を中心に協力の打診があった。

2. 第15回日本地学オリンピック予選問題の評価

芝川委員が作成した一次予選および二次予選の問題に関する詳細な分析資料（問題数・配点や試験方式などの概要、問題に関する講評、出題問題と5社の地学基礎教科書との対比表）をもとに、意見交換を行った。

芝川委員から、一次予選問題は、選択肢の数が統一され、形式・問題の質ともに受験生が受験しやすく、練られた良問であり、総合問題については日ごろからニュースに触れておく必要

性が感じられるとの報告があった。浅野委員からは、地学基礎未履修の受験生の問題文を読むと分かる問題が結構あったので次も参加したいという感想が紹介された。小泉委員からは、得点の度数分布が正規分布となっており、予選問題として適切で、総合問題の温室効果ガスとして水蒸気を答えさせる問題のように表面的な学習では正答に至らない解きごたえのある問題も含まれているという意見がでた。久田委員からは、女子生徒の参加者を増やすためにできることについての問いかけがあった。川勝委員からは、近年、女子生徒向けの科学イベントが増加しているものの地学関係は非常に少ないことから、女子のための地学イベントの開催の必要性が指摘された。富永委員からは、予選参加者の男女比をもとに現状分析をしてみてもどうか、また、国際交流を打ち出すのも一つの方策だとの提案があった。川村委員からは、SDG's と絡めた今回の広報に関する話題が取り上げられ、川勝委員、田中委員、小泉委員から生徒や高校教員の反応としては概ね地学と親和的であるとのコメントが寄せられた。

二次予選問題については、芝川委員から、選抜を意識したより難易度が高い問題で、数学をはじめ他分野の知識や考え方も取り入れて思考することが必要なハイレベルな問題がみられたとの報告がなされた。また、地質図の問題は、解いたことがあるかどうかで差がつくという指摘があった。これを受け、川村委員から、二次予選や本選の勉強に向けて、参加者には地学の教科書の活用を勧めているものの、現在の地学教科書の発行が1社のみとなった現状での対応策に関する問題提起がなされた。それに対し、複数の委員から、図表や図版の活用やフューチャーアース・スクールなどの地学イベント拡充などの案が示された。

以上の議論をもとに、5月上旬をめどに地学オリンピック日本委員会に講評を提出することを確認した。

3. その他

所属に変更があった場合は、渡来を通じて学会事務局に連絡することを確認した。また、次回は、来年のほぼ同時期に委員会を開催し、対面とオンラインのハイブリット開催の方向で調整することとした。

以上